

「楠田大蔵市長と語る会」(要点記録)

- 行政区 大佐野区

- 日時 令和元年 9 月 28 日 (土曜日) 午後 7 時～午後 8 時 35 分

- 出席者 (市民) 34 人 (当該区: 34 人 その他: 0 人)
(執行部) 12 人
市長、副市長、教育長、総務部長、総務部理事、市民生活部長、健康福祉部長、都市整備部長、観光経済部長、教育部長、議会事務局長
(事務局) 4 人
経営企画課長、地域コミュニティ課長、広聴広報係長、広聴広報係員

- 会議内容
 - 1 開会のことば 午後 7 時～
 - 2 自治会長あいさつ 午後 7 時 1 分～
 - 3 市政報告 午後 7 時 4 分～
 - 4 意見交換 (別紙) 午後 7 時 45 分～
 - 5 閉会のことば ～午後 8 時 35 分

		質問・意見等	区に対する回答
質問者 1	意見	<p>市民税が他市と比べて高いのは財政が厳しいからだと思っていたが、工夫していることは分かった。</p> <p>フルタイムで働きながら子育てをしているが、PTA 活動が大変。総会や家庭訪問などで年 4 回は仕事を休まなければならない。男性でフルタイムの人は忙しくて絶対 PTA には参加していない。子どものためと思って頑張っているが、もう少し負担を減らしてほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>本市は「税金が高い」イメージがありますが、そのイメージを払拭できるようこれからも工夫を重ねてまいります。</p> <p>国の方で、保育の無償化が進みつつありますが、働きながら子育てしやすい環境をつくるのが大事だと思っておりますので、今後も努力を続けてまいります。</p> <p>(教育長)</p> <p>PTA は学校の教育活動を支える大切な組織です。ですが、本来は任意参加であるのに強制されているなどの問題が全国的にも取りあげられています。長い歴史を持つ活動であり、様々な意見が出るのは当然ですが、参加する保護者と学校がお互いに理解し合うことが大事だと考えます。負担軽減のために話し合ったり、いろいろな知恵を出し合うなど、学校と保護者がお互いにやりやすく、楽しく出来る活動であることを願っています。学校とも十分話し合うことも必要ですので、今回いただいたご意見は、校長会でもお伝えしたいと思えます。</p> <p>【後日回答：社会教育課】</p> <p>PTA 活動の意義や課題について、理解が深まるよう、機会を捉えて啓発を行ってまいります。</p> <p>【後日回答：税務課】</p> <p>市民税は所得割と均等割がありますが、所得割の税率は全国一律となっており、また、均等割は福岡県内一律となっております。太宰府市が特別に高いというのは誤解であり、そうした誤ったイメージを払拭できるように、税制度についての周知に努めます。</p>

		質問・意見等	区に対する回答
質問者 2	意見	<p>施政方針のプラン2にある「中学校給食」。前市長の時から検討が続いている問題だが、今の状況はどうなっているのか。するのか？しないのか？市長としての考えを聞きたい。</p>	<p>(市長)</p> <p>学校給食の問題は、女性の働き方改革や子育て支援としても重要なもののひとつであり、就任後調査研究委員会を発足して検討を進めてまいりました。現時点では、調査・研究にとどまっております。それは、実施に向けて億単位の運営費や初期投資がかかり、それをどうやって捻出するのかということが一番の課題であるからです。プールの改修や学校の建て替えなど、他の事業との優先順位をどうするのか、ということもあります。議会などでも、常々「任期中に、一定の方向性を出す」ことはお約束しておりますので、どのような形で実現できうるのか、歳出入一体改革を作り上げていながら今後も検討を続けてまいります。</p> <p>私の公約では「最適な方針を協議し、中学校給食の実現を目指します」という表現としており、私自身、子育て環境を考えるうえでも実現できるとよいと認識しております。そのために金銭面や実現の方法をどうするのか、今後議論を進めてまいります。</p>
質問者 3	意見	<p>災害時に「あなたはここに避難して」という指示はあるが、避難者たちは車で来るのか、徒歩で来るのか、避難所に何人来るのか、市内に市民が避難できるキャパシティはあるのか、などの情報は市民全員が知っていたほうがいいのでは。</p>	<p>(市長)</p> <p>大変重要なお指摘をありがとうございます。この「市長と語る会」で防災についてお話をするのは、重要だと認識しているためです。</p> <p>「いざというときにどう動くかがわからない」ことが率直な不安であると思います。そこで、災害時にどういうことが必要になるのか、シミュレーションを行ってきました。私は、太宰府市として市内で避難訓練を行うべきだと思っています。現在筑紫野市との合同防災訓練はありますが、市単体で行えるように準備を行っている最中です。災害時のシミュレーションに基づいた</p>

		質問・意見等	区に対する回答
			<p>避難訓練を来年度の早いうちに行えるように、と思っております。その際、どのような避難の方法なのか、避難所のキャパシティなどもわかりやすくお伝えしたいと思います。</p> <p>【後日回答：防災安全課】</p> <p>現時点において、指定避難所（災害の危険がなくなるまでの間滞在し、または災害により家に戻れなくなった人が一定期間生活する避難所）の収容人数は、約1万人です。様々な災害の状況に応じられるように、協定避難所、協定福祉避難所などを準備しており、今後も増やすように努めてまいります。</p> <p>また、最寄りの避難所の場所などを市民の方が確認できる機会としての避難訓練の実施を考えてまいります。</p>
質問者4	意見	<p>高齢者は定年後に行くところがない。これから高齢者が増えて医療費が増える。今から減らしておかなければと思う。</p> <p>そこで、地域の公民館で集まって体操などをして、高齢者がもう少し働けるようにしたほうがいい。広報紙などで健康講座などのお知らせがあるが、出してもわからない。特に男性はそういう講座に出る勇気がない。そうした人がいつでも来れる居場所を作ってほしい。公民館を朝から晩まで開放して、だれでもいつでも来れるようにしてはどうか。包括センターだけでは足りないだろう。</p>	<p>（市長）</p> <p>包括支援センターのサブセンターが来年度からできますが、それでもキャパシティとしては不足しているだろうというご指摘だと思います。</p> <p>本市の高齢化率は近隣市からすると高めです。高齢者の居場所や働く場所をいかに提供するか、が課題であります。と同時に、伝え方も工夫しなければと思っております。</p> <p>公民館のあり方については、市だけの力では難しく、地域の皆さんのご協力が必要であり、大変重要です。市の財政の余裕を作ることもつながります。また、例えば元気づくりポイントやシルバー人材センターもありますので、そうしたものに力を入れていくのがまずは重要かと思っております。</p> <p>今後、より具体化を図ってまいりたいと思</p>

		質問・意見等	区に対する回答
			<p>います。</p> <p>【後日回答：健康福祉部】</p> <p>元気な高齢者の増加を目指すため、希望する団体には年 2 回ずつ介護予防に関する講座の講師を派遣しております。また、高齢者の居場所づくりなどを担う介護予防サポーターの育成を目標として、以前から大佐野区延寿会と相談していた、シリーズでの出前講座を実施する予定です。</p>
質問者 5	意見	<p>成人式の開催場所について。現在プラム・カルコア太宰府で行われているが、とびうめアリーナで開催する予定はないのか。せっかく立派な建物が出来たのに利用しないのはもったいないと思う。</p>	<p>(市長)</p> <p>来年 1 月の成人式について、とびうめアリーナでの開催を検討したことはありまして、その結果プラム・カルコア太宰府での開催となりました。</p> <p>その理由として、成人式への出席者は 500 人程度ですのでプラム・カルコアで十分足りること、これまでの実施で「集まりやすい」との声を新成人からいただいていること、声が届きにくいなど、とびうめアリーナの音響設備にやや問題があることなどが挙げられます。</p> <p>とびうめアリーナに関しては、休日の予約は埋まっていますが、平日にまだ空きがあるため、そこは課題であります。もし、とびうめアリーナでの開催となると、成人式は休日に行うため、アリーナ利用者から逆に不満が出るかとも思います。</p>
質問者 6	意見	<p>ここ数年混乱が続いてきたため「太宰府市出身」ということでひやかされ恥ずかしい思いをする。市民が選挙で選んだのだから市民が恥ずかしい思いをするのは仕方ないと思う。</p> <p>楠田市長から市政の報告を聞いて、これまでとは違ったバイタリティを感じた。が、最近「太宰府市は近隣から 30 年遅れている」と何回も耳にする。それは市政運営を</p>	<p>(市長)</p> <p>これまでの混乱も踏まえ、市民の皆さんとの対話を踏まえた市政運営の重要性は大いに理解しています。経営方針の中でも「市政を安定させることが重要」と述べておりますし、混乱してトップが変わると職員の負担も大きくなります。</p> <p>一方で如何ともしがたい状況だったのはありますが、4・5・6 月のお祝いムードの</p>

	質問・意見等	区に対する回答
	<p>指しているのだと思う。</p> <p>そこで、市職員の業務に関して以前から思っていることがある。令和のイベントや古都の光、政庁まつりなどのイベントに市職員がかり出されているし、夜の業務も多いと聞いた。疲れている様子だった。そういう、本来の業務以外の仕事が多すぎるのでは。この語る会も、やるのはいいが土曜日の夜はさすがにない。職員としての本来果たす、最小限にとどめて、他市と並ぶような働き方改革と意識改革が必要。市長がひっぱって行ってほしい。</p>	<p>際には職員総出で頑張ってくれました。そろそろお祝いムードも落ち着き本業に力を入れないと、と思っています。</p> <p>行事について他市と比較したことはないのですが、本市は観光都市ということもありイベントなどは必然的に多くなります。</p> <p>また、「30年遅れている」というイメージを払拭するには、職員が頑張らなければいけないというのも事実でありますし、「市長と語る会」を土曜の夜に行うのは自治会側の要望もあるためです。</p> <p>最適解を見つけるのは難しいですが、環境省との人事交流など、他市より先取りしていることもあることは確かな事実です。そうしたことは今後も進めてまいります。</p>
<p>質問者 7</p>	<p>意見</p> <p>こうした意見交換の場を設けてもらい感謝したい。</p> <p>中学校の部活動について、学校の働き方改革の一環として外部指導者派遣事業を実施すると施政方針に書いてあるが、これの現在の状況を教えて欲しい。</p>	<p>(教育部長)</p> <p>当事業は、これまでボランティアとして部活動に携わっていただいた方を、改めて外部指導者として行うもので、学校の要望を伺い体育協会と調整して実施するものであります。現在11人の外部指導者がおりますが、これまでどおりボランティアとして指導を続けて頂いている方もいらっしゃいます。</p> <p>また、部活動自体の指導方針の策定を現在進めている状況であり、少しでも先生方の負担が減るよう、行ってまいりたいと思います。</p> <p>【後日回答：学校教育課】</p> <p>部活動外部指導者だけではなく、各中学校に外部指導員を配置することについても現在検討中です。学校教育課と体育協会と協議を行い、教職員の働き方改革、部活動の活性化という2つの観点から、より現場のニーズに対応できる仕組みとなるよう改善を図ってまいります。</p>

		質問・意見等	区に対する回答
質問者 8	意見	<p>太宰府に戻ってきて10年になる。普段は仕事上市内をまわっているのだが、よく「近隣市は住みやすい」と言われる。</p> <p>これから先、高齢化が進む。人口の推移では近隣市は増加しているのに太宰府は減っている。ということは、うちは高齢者が多くて若者が少ないということ。将来的にはもっと減るのでは。そこで5年、10年先を考えて人口をいかに増やすかということ（が重要）だと思う。財政のこともあるが、人口が増えないといい市にならないと思う。観光だけでは人口は減ってくるだろうし、空き家も増えてくる。</p> <p>本市は学校や大学もあるし、県や国とのパイプを強くして住みよいまち、住んで良かったと思えるような市にしてほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>ご意見ありがとうございます。そういったイメージは一度定着するとなかなか払拭できないところはございます。しかし、坂本あたりなどに団地が出来ているように、人口は実際には増えております。</p> <p>一方で、学校の教室不足や交通渋滞などの問題があります。実際のところ人口が増えている中で、それにどう対応するのか、ということに追われているのが現状です。人口をさらに増やしていくのか、今を適正と考えるのかということもありますが、総合計画の総括をしながら将来の展望を決めていかなければと思っています。</p> <p>市民意識調査の結果も、おかげさまで数値としては改善しております。ですが、皆さんの印象との乖離があることはしっかり受け止めながら、そのようなご指摘を受けないように住みよいまちにしてまいります。</p>
質問者 9	意見	<p>部活動でとびうめアリーナを使用したいが予約がいっぱいで取れない。市民や部活動などを優先的に、などは対応できないのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>様々な場面で「とびうめアリーナが予約できない」という声が多いと感じております。地元民を取りやすくしてほしいなどの要望も多いです。出来る限り改善を進めていきたいと思っております。</p>